

モンゴル工学系学生の本邦企業での
インターンシッププログラム
(ITGEL プログラム)

インターンシップ受入企業向け
募集要項

令和6年11月

特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構
株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

1. 事業目的

本事業は、モンゴルの工学系大学生および高等専門学校生（以下「モンゴル人工学系学生」）をインターンシップ生として、外国人材の活用を前向きに検討する日本企業において受け入れていただくものです。

様々な産業で働き手不足が顕在化し外国人雇用のニーズが増加する一方、外国人雇用を進めるためには社内制度の見直しや受入体制の構築も必要です。本事業では、まずはインターンシップとしてモンゴル人工学系学生を受け入れることを通じ、外国人材の採用に向けた社内制度整備が促進され、またモンゴルの教育機関との関係を構築することで、将来に向けて継続したモンゴル人材採用の道筋が立てられることを狙いとしています。モンゴル人工学系学生においては、教育の一環として本インターンシッププログラムに参加し、日本の技術を学び、卒業後に日本での就職を検討するきっかけとしてもらうことを狙いとしています。

2. 本事業の主催者

独立行政法人国際協力機構からの受託により、特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構および株式会社コーエイリサーチ&コンサルティングが共同企業体（以下、「ITGEL プログラム事務局」とする。）を形成し運営を行います。

※ITGEL（イトゲル）とは

- 本事業の英文名称である「Internship for Growth of Engineering Leaders」の略称から取ったプログラム名。
- ITGEL はモンゴル語で「信頼」を意味する言葉で、本事業を通してモンゴルと日本の「信頼」を築きたいという思いを込めた名称です。

3. 募集概要

モンゴル人工学系学生を、インターンシップとして受け入れていただく日本企業（以下「受入企業」）を、以下のとおり募集いたします。

(1) 募集対象企業

以下の①から⑥の全てを満たす受入企業を募集いたします。尚、応募後にこれら要件の欠如・喪失が判明した場合、本プログラムにご参加いただけない場合があります。

- ① 商業・法人登記が日本国内にあり、また、インターンシップ学生の受入が可能な事務所・事業所を日本国内に有すること。
- ② モンゴル人工学系学生に対し、実践的スキル、就業経験及び社会人としての心構えを学ぶ機会を対面で提供できること。
- ③ モンゴル人工学系学生が安心・安全かつ有意義な研修を受けられるよう管理監督する態勢を整え、インターンシップ終了時に評価を適正な行うことができること。

- ④ インターンシップを安心・安全かつ円滑に実施するために、ITGEL プログラム事務局及びモンゴル人工学系学生が所属するモンゴルの大学・高専と連携・協力ができること（インターンシップ中の ITGEL プログラム事務局職員及びモンゴル教員の巡回訪問の受入を含む。）。
- ⑤ 将来的に、社内において外国人採用を前向き検討していること。
- ⑥ 以下のいずれにも該当しないこと
 - （イ）支払停止、又は支払不能の状態にある者、（ロ）破産申立、会社更生手続開始の申立、特別清算開始の申立、又は民事再生手続開始の申立がある者、（ハ）清算中である者、（ニ）直近一年間で、法人税、消費税及び地方消費税、源泉徴収した所得税及び住民税に未納がある者、（ホ）過去 5 年以内に労働関係法令に違反した者、（ヘ）暴力団等反社会的勢力に該当する者または交友関係・取引関係にある者。

(2) 募集企業数

最大 40 社程度。

(3) インターンシップ実施時期及び日数

2025 年度に実施する第 1 バッチまたは第 2 バッチのいずれかにて受入を行っていただきます。

第 1 バッチ：2025 年 7～8 月上旬の 3 週間（モンゴル教育機関の夏期休暇期間）

第 2 バッチ：2026 年 1 月中旬～2 月の 3 週間（モンゴル教育機関の冬期休暇期間）

受入企業の申込受付後、実施地域の分布等を踏まえ、ITGEL プログラム事務局によりインターンシップ実施時期（第 1 バッチまたは第 2 バッチ）を決定します。いずれかのバッチのみでしか実施できない場合、申込の際にお知らせください。ただし、ご希望に沿えない場合がございます。

(4) 対象となるモンゴル人工学系学生

本プログラムには、以下の①及び②の両方を満たすモンゴル人工学系学生が参加します。

- ① 以下の対象教育機関に所属する 2024 年 9 月時点で大学 3 年生又は高専 4 年生（2026 年 6 月に卒業予定の学生）。
 - モンゴル国立大学
 - モンゴル科学技術大学
 - モンゴル生命科学大学
 - モンゴル国立科学技術大学附属高等専門学校
 - モンゴル工業技術大学附属高等専門学校

新モンゴル学園高等専門学校

- ② ①の教育機関において、以下のいずれかを専攻している学生
- 電気電子工学
 - 機械工学
 - 建築・土木工学
 - 化学・バイオ工学
 - 情報工学
- ③ インターンシップ開始時点で、日本語能力試験 N3 レベルに達する研修を修了し、日本語によるコミュニケーションが取れる学生

(5) 使用言語

原則、日本語。

なお、社内で外国人受入れ実績等があり、英語での実施が可能な場合、受入予定の学生が英語で意思疎通できる場合は英語を活用することも可。

(6) 費用等

受入企業が負担する参加費や管理費等はかかりません（ただし（7）③を除く）。本プログラムでは、モンゴル国内で面接を行うため、受入企業各社1名分につき、以下の費用を支給します（面接は2025年6月または12月頃を予定）。

- 成田空港とウランバートル空港間の往復航空券（エコノミークラス）
- 面接実施に必要な日数に係る滞在中の宿泊費（上限規定あり）
- 面接実施に必要な日数に係る滞在中の日当（上限規定あり）

【モンゴル人工学系学生に対する支弁内容】

- ※ モンゴル人工学系学生の来日にかかる渡航費、国内交通費、滞在中の宿泊費、保険加入費用は、一部の学生負担を除き、すべてプロジェクトにて負担いたします。
- ※ 学生の宿泊場所として、社員寮等をご提供頂ける場合にはお知らせください。費用が発生する場合には、プログラムにて負担いたします（上限あり）。
- ※ 本プログラムでは、企業からモンゴル人工学系学生に報酬（給与）の支給は想定されません。ただし、経費としての昼食代やお弁当の支給等、ご配慮いただくことは可能です。

(7) 受入企業への依頼事項

プログラムの円滑な実施のため、受入企業の皆様には以下の①から③について、ご協力お願いいたします。

- ① 学生との最終マッチングを目的とする面接をモンゴルで行うため、現地への渡

航をお願いいたします（受入バッチにより、2025年6月または12月頃）。渡航にかかる費用については、(6)費用等をご参照ください。渡航は30日以内のため滞在中のビザは不要ですが、パスポートをお持ちでない方は事前に取得いただくようお願いいたします（パスポート取得費用の補助はありません）。

- ② 企業概要や事業情報、インターン計画に関するインフォメーションシートの作成、モンゴル人工学系学生向けオンライン説明会における説明、3週間のインターン計画の作成をお願いいたします。各種準備に関しては、事務局より支援を致します。
- ③ 実習を行うにあたり必要な場合には、ユニフォームや作業着、ヘルメット等の貸与、また実習中に発生する材料費等は、受入企業様の負担によりご提供いただくようお願いいたします。金額が大きい場合等は、個別にご相談ください。

4. 応募方法

ITGEL プログラム事務局であるアジア科学教育経済発展機構（以下、「アジアシード」とする。）のウェブページ内に設置される申込フォームより、必要事項を入力の上、送信してください。締め切りは11月22日（予定）です。

なお、本申し込みをもって、本プログラムの趣旨及び以下の点に同意頂いたものとみなします。

- 学生の応募状況、応募した学生の専攻分野、企業側が学生に求める条件等により、モンゴル人工学系学生と受入企業とのマッチングが成立しない場合もあります。その場合は、申し込みいただいてもインターンシップの受入れはできません。
- 本事業の円滑な実施のため、提出いただきました申込フォームの内容は、モンゴル国教育機関、受入企業の所在地である本邦自治体関係部署と共有する場合があります。

5. 全体全体スケジュール

時期	第1バッチ	第2バッチ
2024	11月中旬 インターン受入企業の申し込み受付	
	12月末まで 受入企業確定・モンゴルの教育機関および学生への提示 第1バッチまたは第2バッチの実施時期の確定・連絡	
2025	1月～ インフォメーションシートの作成	
	2月 オンラインによる企業説明会	
	4月 学生からエントリーシートの提出	7月～ インフォメーションシートの作成
	6月 モンゴルにて最終面接、現地視察	8月 オンラインによる企業説明会
	1週間後を目処 事務局による最終調整、受入確認書の 提出によりマッチング成立	10月 学生からエントリーシートの提出
	7月～8月 インターンシッププログラム	12月 モンゴルにて最終面接、現地視察
	9月 インターンシップの事後評価	1週間後を目処 事務局による最終調整、受入確認書の 提出によりマッチング成立
2026		1月～2月 インターンシッププログラム
		2月 インターンシップの事後評価

6. 学生と受入企業のマッチング方法

モンゴル人工学系学生の選考および受入企業とのマッチングの手順は以下のとおりです。

- ① 受入企業によるインフォメーションシートの提示、オンラインによる企業説明会
企業情報やインターンシッププログラムの内容等をまとめたインフォメーションシートを、ITGEL プログラム事務局で取りまとめてモンゴル人工学系学生に提示します。合わせて、オンラインによる企業説明会を開催し、各社の事業概要、インターンシップ計画について説明を行っていただきます。
- ② 学生によるエントリーシートの提出
説明会を踏まえ、モンゴル人工学系学生のエントリーシートを ITGEL 事務局に

て取りまとめ、各希望企業に提出します。エントリーシートを各企業にてご確認いただき、面接を実施する学生を確認していただきます。

③ 面接による最終確認

受入企業担当者はモンゴルに渡航いただき、学生と対面面接を実施し、最終的な受入可否をご判断いただきます。面接は学生側からの希望に応じて各社最大6名程度の学生を想定しています。選定いただける学生数は最大2名です。

④ 最終マッチング調整

面接の結果をITGELプログラム事務局にご提出いただき、事務局にてマッチングの最終調整を行います。

⑤ 受入確認書の提出、マッチングの成立

企業様からの受入確認書の提出をもって、インターンシップのマッチングを成立とみなします。

※ 学生の健康等個人的理由による渡航不可、不備等による査証の発給不可等の理由で面接後にマッチングが不成立になる場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

※ マッチングのプロセスは、今後変更される可能性がございます。

7. インターンシッププログラムのモデルスケジュール

3週間(21日間)のインターンシッププログラムのモデルスケジュールです。各社の事業内容に応じて計画を策定頂きます。策定の際には事務局より支援を致します。

① 1日目

午前中：来日。ITGEL事務局によるオリエンテーション

午後：各受入企業への移動、企業見学等。

② 2日目～19日目

企業におけるインターンシップ実習

※ 週末には、文化体験や地域観光等のイベントも受け入れ自治体とともに計画予定です。

③ 20日目

モンゴル人工学系学生による報告会(受入自治体ごとに行う予定)。

受入企業ご担当者様も積極的にご参加いただき、インターンシップの事後評価にご協力ください。

④ 21日目(最終日)

帰国

8. その他

(1) 査証とインターン計画の範囲

モンゴル人工学系学生は90日以内の滞在が認められる短期滞在ビザにて来日し

ます。本インターンは就業体験を通じて、学生自身が自らの能力を見極め、将来のキャリアに関連した就業体験を行う活動であり、キャリア教育の一貫です。そのため学生と受入企業様の間には雇用関係は生じないものの、安全、災害補償の確保、ハラスメントへの対応に関して企業様において責任を持った対応を取っていただくことが必要となり、労働関係法令が適用される場合もあります。詳しくは、「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」(令和4年6月13日一部改正、文部科学省、厚生労働省、経済産業省)をご参照ください。<https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/000949684.pdf>

(2) 保険の加入

- ① モンゴル人工学系学生は、日本滞在期間の疾病や傷病を対象とする海外旅行保険に加入します。
- ② モンゴル人工学系学生は、インターンシップ実習中に、他人にケガを負わせたり企業に損害を出したりしたときに適用されるインターンシップ保険に加入します。

(3) インターンシップの中止

モンゴル人工学系学生に病気や発熱等の症状が発生した場合、サービス上の問題等が発生した場合、インターンシップを継続することにより貴社の業務に著しい支障が生じる場合には、インターンシップを中止することができます。中止することが必要となった場合には、速やかに ITGEL プログラム事務局までご連絡ください。

9. 申込み及び問い合わせ先

インターンシッププログラムに関するご不明点やご連絡は、以下までお願いします。

【モンゴルインターンシップ ITGEL プログラム事務局】

アジアシード (特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構)

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 36-2 Daiwa リバーゲート

TEL: 03-6206-2222 / FAX: 03-6206-2244

担当：山野井 真子 (050-3668-6540)

問い合わせ用メールアドレス：itgel_info@asiaseed.org